

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



堆肥作製に関する講習会では、いろいろな材料を用いる点に住民にとっての発見がありました。

ごあいさつ

日本では冬のさなかですが、ブルキナファソでは日中気温が 30 度を超えるようになり、乾季が始まったことを実感しています。

昨年、西アフリカでは、エボラ熱の発生・拡大やブルキナファソでの政変等、世界的な注目と懸念を集めるような出来事が起こりました。幸い、プロジェクトを実施している地域では、いずれの出来事からも影響を受けることなく、住民の方々が日々の営みを続けています。

中央北部州バム県でプロジェクトを開始して、7 年になります。調査のために村を訪れた時、住民の方々は好意を持って対応してくれたのですが、その顔は疲れているように見えました。植えた苗木が大きくなり、穀物の収穫量が増加し、家計が少しずつ楽になり、村や組合の金庫にお金が貯まるようになるにつれ、伏し目がちだった目線が上向きになり、表情が和らいでくるように思えました。

しばらく前から私は、「プロジェクトとは刺激である」と考えるようになっていきます。プロジェクトがきっかけとなって、住民の方々が発見や工夫をするようになってくれることが、大切なのだと考えています。これからも、皆様からのご支援を受けながら、このようなプロジェクトを実施していきたいと考えています。

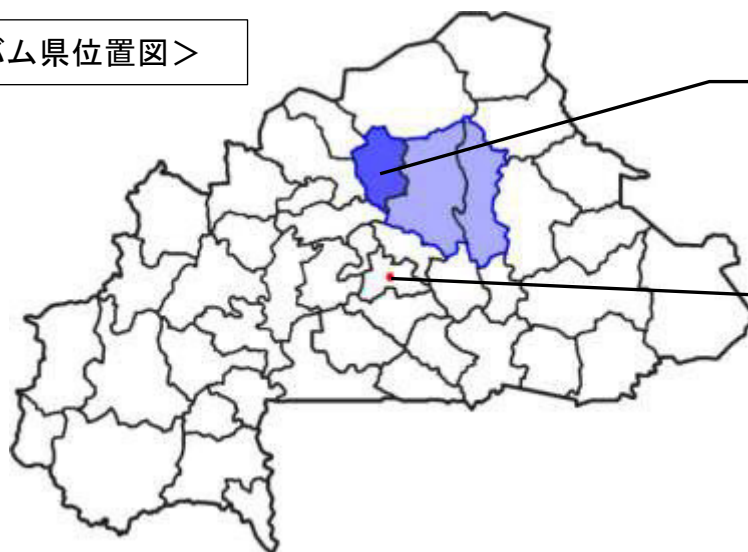
最後になりましたが、皆様のご多幸を祈念しますと共に、寒暖の差が激しくなる時節柄、ご自愛下さい。

緑のサヘル 代表理事 岡本 敏樹

ブルキナファソの活動地域図



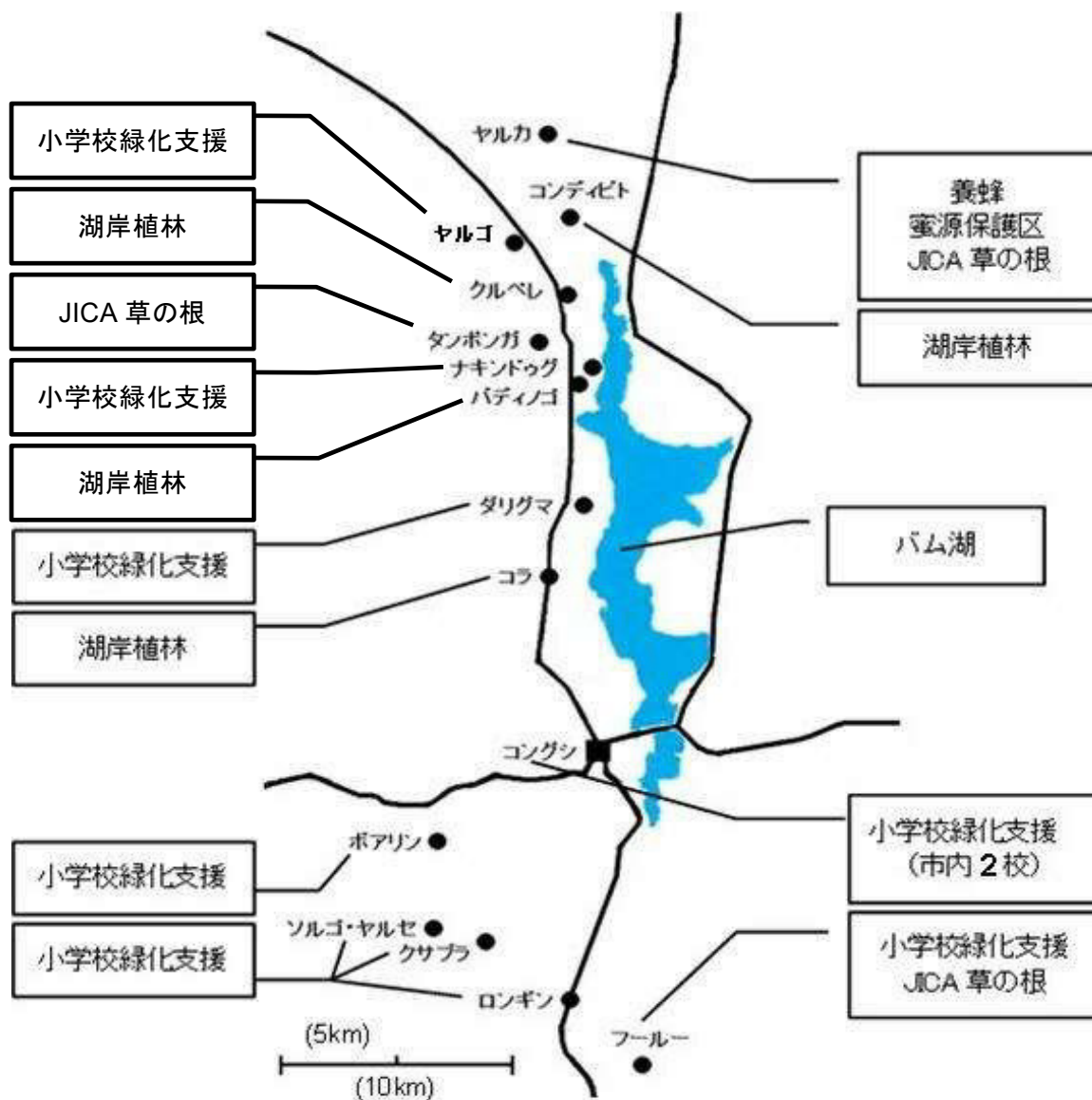
<バム県位置図>



バム県

ワガドゥグ

<バム県コングシ地域活動実施村位置図>





時節柄、涼しい日もあるのですが、既に乾季の暑さを感じます。昨年 10 月末に発生した、抗議活動からエスカレートした破壊行為の痕跡は見当たらず、首都ワガドゥグの雰囲気は落ち着いています。プロジェクトを進めているcongシ地域では、バム湖の周辺で行なわれている野菜栽培が盛期を迎えており、住民は水やりやインゲンの収穫作業に忙しい毎日を送っています。

JICA 草の根技術協力事業

プロジェクトで実施する活動は、1. ディグット（石堤）設置・アンドロポゴン（イネ科多年草）植栽、2. ザイ（堆肥穴）農法・堆肥の作製と利用、3. 養蜂・蜂蜜販売、4. 羊の飼育・販売、5. 搾油です。これらの活動のうち、1 と 2 に関し、実際の作業に取り組む住民を対象に、講習会を行ないました。

講習会は、バム県環境局の技官の方に講師をお願いし、各村において行ないました。どちらも穀物栽培の収穫量改善につながるため、活動グループのメンバーだけではなく、村内の多くの男性と女性が参加しました。女性たちの関心は強く、ザイ農法の実技の際には、つるはしを使ってザイ穴を掘ったりするなど、積極的に参加していました。

搾油は、今回のプロジェクトの目玉といえる活動です。「緑のサヘル」としても、初めて行なう活動になります。コンプレッサー付き手動搾油機を用いて、落花生等の農産物やニーム、バラニテスといった現地に自生する樹木の実から、油を搾出する計画です。

タンポンガ村とヤルカ村で女性組合を対象に行ないますが、タンポンガ村には搾油機を設置し、搾油作業が行なえるような建物がありませんでした。このため、作業用の建物を建設しました。

現地では、ちょうど家屋の新築や修理をする時期であったこともあり、2 週間ほどで完成しました。それにしても驚くほど短い工期だったため不安でしたが、建物は外壁も内部もしっかりしており、丁寧な仕事ぶりが確認できました。搾油機が設置された後、装置の使い方やメンテナンス方法を含めた講習会を行なう予定です。



講習会の実習として、ザイ農法のための穴をつるはしで掘っているヤルカ村の女性。



男性が立っていますが、タンポンガ村に建てられた女性組合が搾油作業を行なう建物です。

ブルキナファソから 2



湖岸植林プロジェクト



コンディビト村に建設された貯水槽。運んできた湖水を溜め、水やりに使います。

4 村で行なっている湖岸植林は、各村で新しく植林を始めた住民が加わり、面積だけではない広がり生まれています。

コンディビト村では、1 名が新たに植林に取り組むことになりました。水やりの水源となるバム湖からやや離れているため、貯水槽を建設しました。植えられたユーカリはまだ小さいですが、成育は良好です。

クルペレ村では、2 名が新参加です。ユーカリ苗木が野菜栽培地の中に植えられていました。マンゴ苗木はよく見かけるのですが、ユーカリは初めてです。水やりが十分なため、他の場所よりも大きく成育していました。

バディノゴ村では、新規の参加者は 1 名でした。通常、植林地は四角形に用意されますが、彼の植林地は湖岸に向かって広がる三角形をしています。野菜栽培の経験を活かし、水路で連結された小さな貯水穴がいくつか掘られており、モーターポンプでくみ上げた湖水を植栽地の端まで送水できるようにしてあります。思わず感心する工夫でした。

コラ村では、5 名の住民が新たに植林活動に参加しました。コラ村では、2009 年以来、湖岸植林が続けられていますが、参加者がこれほど多くなったことは初めてです。

チャドから



収穫量は増えましたが、消費量が不足します。

2015 年の食糧需給に関する予測が、発表されました。それによると、国民の 20%に相当する 240 万人が食糧不足に直面し、そのうちの約 43 万人が深刻な状況に陥ることになるとされています。

2014 年の食糧生産は、例年よりも 9%増加しました。しかし、サヘル気候区に属する地域では、降雨が遅れたため、収穫量が減少しました。このため、消費の観点では、増加分が相殺される結果になりました。

量としての不足が確実視されることにより、栄養面での不足も心配されています。とりわけ、5 歳未満の子供と母親の栄養状態の悪化が気になります。



畑の横でトウを食べる子供。(ブルキナファソ)

トウ: 現地の主食の一つで、ソルガム(モロコシ)の粉をお湯で練ったもの。

国内活動



昨年末は 11 月に、毎年恒例となっている岩手県内の学校での講演を行ない、約 780 名の子供たちにお話させていただきました。また年が明けた 1 月には、静岡県静岡市清水区の広幡中学校にて、「緑のサヘル」への寄付授与式が行なわれました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

2014 年

11 月	4 日(火)	盛岡市立 桜城小学校	(5 年生 70 名・6 年生 72 名)	講演	(菅川)
	6 日(木)	誠文館学童クラブ	(小学 1~6 年生 37 名)	講演	(菅川)
	9 日(日)	緑のサヘル岩手報告会	(一般・教師 9 名)	報告	(菅川)
	11 日(火)	滝沢市立 滝沢東小学校	(5 年生 38 名)	講演	(菅川)
	13 日(木)	一関市立 花泉中学校	(1 年生 119 名・2 年生 125 名)	講演	(菅川)
			(3 年生 107 名)	講演	(菅川)
	14 日(金)	盛岡市立 下小路中学校	(3 年生 211 名)	講演	(菅川)
	20 日(木)	「世界食料デー月間」月例ミーティング		出席	(岡本)

2015 年

1 月	27 日(火)	藤枝市立 広幡中学校	寄付授与式	出席	(菅川)
-----	---------	------------	-------	----	------

広幡中学校 寄付授与式



皆さん、本当にありがとうございました！

去る 1 月 27 日、静岡県藤枝市の広幡中学校において、「緑のサヘル」への寄付授与式が行なわれました。

この寄付金は、生徒の皆さんが 1 年間回収した古紙を換金したもので、「緑のサヘル」へのご寄付は今年で 4 年目になります。

授与式には、事務局長の菅川が出席し、現地の状況や活動の様子を紹介しました。いただいたご寄付は、村々に植える苗木の購入等、現地の活動に活かされます。

花泉中学校 ワークショップ

昨年 11 月 13 日、岩手県一関市の花泉中学校で、3 年生 107 名と教師の皆さん、菅川によるワークショップが行なわれました。

3 年生の皆さんは、1 年・2 年時に講演を通じて現地の生活の大変さを学び、支援活動が続けて来ました。3 年目の今年は、班ごとに水汲みや水運び、薪運びの疑似体験にトライしました。

生徒たちは皆、バケツや薪を想定したダンボール箱の重さに苦労しながら、現地の作業の大変さを実感していました。



皆さん、3 年間ありがとうございました！



大自然の中、丹精込めて作られた チーズやソーセージ、カレーはいかがですか？

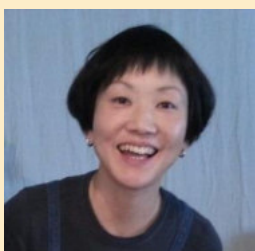
長野県の八ヶ岳山麓に、「八ヶ岳中央農業実践大学校」があります。ここでは、営農を志す青年たちが、豊かな緑の中で作物や野菜、乳製品や加工食品作りに、日々汗を流しています。

「緑のサヘル」代表の岡本と事務局長の菅川は、この学校のOBで、ここで2人は出会いました。その縁もあり、「緑のサヘル」を通じて製品をご注文頂くと、大学校のご厚意によって、売り上げの20%が当団体に寄付されます。



詳しくは最終ページのセット価格表をご覧ください！

～ はじめまして ～



皆さん、はじめまして。この度、2月から緑のサヘルにプロジェクト調整員としてお世話になることになりました大谷と申します。

新しい環境は「気づき・発見」の毎日です。少しでも早く馴染み、現地ブルキナファソのホットな情報を皆様にお伝え出来るよう頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(大谷 恵美)

～ お世話になりました ～



この度、1月16日付で退職することになりました。約3年間という短い間ではありましたが、支援者の皆様には大変お世話になりました。はじめはわからないことがたくさんありましたが、スタッフをはじめ皆様のおかげで、これまで業務を行うことができたと思っています。ありがとうございました！

アットホームな「緑のサヘル」は、とっても居心地が良かったです！今後もNGOに関わる仕事に携わる予定ですので、また皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

(田村 典子)



インターンとしての半年間、本当にお世話になりました。活動に携わせていただくことを通じて見えてくる国際協力のやりがいや難しさなど、多くのことを学ばせていただきました。

これからは、今自分にできることは何かを考え、学んだことを研究や進路選択にしっかりと活かしていきたいと考えております。ありがとうございました！

(鵜澤 光佑)

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

瀬戸進一／内藤篤／古川フミ子／杉本和／田中ちえ子／浅輪哲司／田邊諄兒
加藤和雄／手嶋康／竹内信／井上幸子／國岡裕子／豊田和子／上野幸子／梅田暢子
竹越久美子／矢野友一郎／今野進／野々山富雄／宮田春夫／木嶋清江／太田弘子
油島小学校 佐藤怜子／小川あい子／玉岡昇治／佐々木順平／和田隆資／鈴木幸子
野口鉄雄／援助修道会 管区本部

【 ご寄付を頂きました 】

梶野修平・千恵子／援助修道会 管区本部／丹邦子／佐藤郁子／黒河内康
武藤彰子／小笠原弘子／鮎川耕史／齋藤政宏・せい子／竹中和子／浅井賢太郎
佐藤京子／田中ちえ子／加藤治郎／田邊諄兒／須藤さい／佐藤弘美／北川華子
手嶋康／宮本秀子／柳沢ゆき／高松千枝子／山根二郎／梅田暢子／榎本みつ枝
土蔵愛子／石毛弘／辻川はるみ／宮田春夫／鈴木潤／西村豊子／木嶋清江
小池昌子／諏訪弘美／賀川麻衣／井上進次／東海林茂子／村上和代／富谷晋
青柳美知子／花垣末男・正／松浦外美／神野潤子／加納愛子／紀氏健雄
中尾寿美／谷村泰子／高瀬光代／安生弘子／水島多衛子／奥 康功／太田弘子
勝間朋子／澄田静／西山鐵之助／水口正之／赤山孝子／赤山美苗／小川あい子
太田宜子／淳工房 菅井淳介／高木真味子／信野正夫／大段るみ子／徳永由希子
中久保慎一／藤枝市立広幡中学校生徒会／世界食糧デー(株)電通ワークス
日本聖公会 西宮聖ペテロ教会／日本聖公会 大阪教区婦人会
かみひとねっとわーく京都〈事務局〉蛸名健仁・加奈子
個別教育フォレスト 安多秀司 他 匿名をご希望の方 6名

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

安田喜代美／竹橋なお美／今井奈津子／坪居寿美子／小林とし子
学校法人 アジア学院 他 匿名をご希望の方 2名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

一関市立花泉中学校／井上宏美／太田宜子／米江律子

上記は 2014 年 11 月 1 日から 2015 年 1 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2015 年 2 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
アクトシステム株式会社／(社)日本経済団体連合会／(公信)地球環境日本基金
isave(シーブ(株))／住宅エコポイント／ アフリカ料理 トライプス
(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス
gooddo(株)セブテーニ・ベンチャーズ／ソーシャルアクションリング

「緑のサヘル」からお知らせ

書き損じハガキ・切手などは「緑のサヘル」へ!

皆さんの家に、書き損じハガキや年賀状、未使用切手、余っている商品券や図書券はありませんか?もしありましたら、是非「緑のサヘル」までお送りください!



お送りいただきました書き損じハガキや年賀状、書中見舞いのハガキは新しいハガキや切手と交換し、商品券や図書券はお金に換えて、活動のために役立てさせていただきます。

gooddo

“社会を良くする” 仕組みづくり

Gooddo (グッドゥ) は、応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に無料で支援することができます。

gooddo のサイト (<http://gooddo.jp>) にアクセスし、「団体を探す」から「緑のサヘル」を選び、クリックして下さい。応援ポイントが貯まり、ポイント数に応じた支援金が「緑のサヘル」に届けられます。よろしくお願ひします!!

【 もくじ 】

- | | |
|----------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地域図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

- 2月になり、気温が30度後半になりました。この暑さの中、事務所の庭に生えているマンゴが小さな実をつけ始めました。たくましいです。(岡本)
- 現地では、たくさんのイスラム教の方々と活動しています。皆、本当にまじめで、とても優しいです。日本の皆さん、決して誤解しないで下さいね。(菅川)
- 改憲、TPP、辺野古、そして人質事件と気が重いニュースが続く中、あっという間に ODA 大綱が改定されてしまった。いったい誰のための支援なの? (本所)
- 初のブルキナ渡航を目前に控え、気分はワクワク。不安もありますが、再びアフリカの地に立てることに感謝し、しっかりと現場を見て来ます。(大谷)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.61

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 大谷恵美 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 N A S ビル 301 TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041